

理科の調べ方を身につけよう① [教科書 204 ページ]

けんび鏡の使い方

けんび鏡を使うと、()では見えにくい、小さい物や
()つくりを調べることができます。

〈気をつけること〉

- ・目をいためるので、()が直接当たらない、()ところで見るところで見る。
- ・()などところに置いて使う。

けんび鏡の倍率 = ()の倍率
× ()の倍率

① ()レンズの倍率を
いちばん低い倍率にする。
()レンズをのぞきながら
()を動かして、
明るくする。

② ()にプレパラート
(観察する物をのせたスライドガラス)を
置き、()でとめる。

③ ()から見ながら調節ねじを
回して、()レンズに
プレパラートをできるだけ近づける。

④ ()を少しずつ回して、
()レンズから
プレパラートを遠ざけていき、
はっきりと見えるところで止める。

- ・右の図で、観察したい物を中央に動かそうとするとき、プレパラートをア〜クのどの方向に動かしたらよいだろうか。()

